

平成28年度 上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	第 1 回 精神障がい者地域生活推進 部会	参加者数	21 人	会場	伊那市 福祉まちづくりセンター 2階 大会議室
	日時	平成 28 年 7 月 13 日 (火) 13:30 ~ 15:30				
主 テ ー マ						
主 な 意 見 な ど	<p>①開会 ②部会長あいさつ (部会長不在につき、副部会長のあいさつ)今年度はもっと当事者が参加できる場としていきたい。有意義な会になります様、本年度もよろしくお願いします。 ③辰野アドバイザーあいさつ(省略) ④H27年度振り返り・H28年度の部会の取り組みについて(矢野・春日より) H28年5月23日に行われた自立支援協議会 全大会の資料をもとに説明した。 ⑤総合支援法施行3年後見直しについて(概要) ピアサポートネットワーク大石さんより報告があった。</p>					
ま と め	1					
次 回	(記録者)					

会議	部会名	第 2 回 精神障がい者地域生活推進 部会	参加者数	30 人	会場	福祉まちづくりセンター 大会議室
	日時	平成 28 年 10 月 26 日 (水) 13:30 ~ 15:30				
主 テ ー マ	1 開会 2 部会長あいさつ 3 辰野アドバイザーあいさつ 4 ワールドカフェ方式による相互理解の体験 5 その他 6 閉会					
主 な 意 見 な ど	1 開会 2 部会長あいさつ 南信病院 伊東さんより 今回のワールドカフェ方式による相互理解を活用し、部会のテーマである『見える化』をすすめお互いの理解をし、より良い今後の支援をみんなで目指していきましょう。 3 辰野アドバイザーあいさつ さまざまな機関と関わることで支援に大きな成果を得ることが出来る。 4 ワールドカフェ方式による相互理解の体験 5つのグループに分かれてグループワークを行った ・自己紹介 ・『これまでの自分のあゆみを振り返って転機だったと思う体験はどんなものですか?』をテーマに各グループでワーキング開始 ・他花受粉(他のグループのワーキング内容を聞いて歩く。その後自グループに戻り再度ワーキングを行った) 5 その他 感想 ・とてもリラックスして話げできた。 ・顔を見て話をするこゝで、今後のより良い支援につながればいいな、と思った。 ・ワールドカフェってどうなんだろう。と思っていたが、相手のことを知ることが出来、いい気づきになった。 ・なかなか自分のことが話せなかったが、同じ福祉の世界で働く者同士の共通点もたくさん見つけてよかった。 ・“転機”というテーマで自分のことも振り返ることが出来た。今後利用者の方とも共通点を見つけていけたら、と感じた。 6 閉会					
ま と め	ワールドカフェ方式を取り入れることにより、関係機関と和やかな空気でグループワークができて、本会テーマの“見える化”としてお互いのことを知る良い機会となった。					
次 回	平成28年11月24日 13:30～ 伊那市まちづくりセンターにて 伊那保健福祉事務所主催 講演会 テーマ「高齢者の精神障がいについて～疾患理解と地域における支援～」					

会議	部会名	第 3 回 精神障がい者地域生活推進 部会		参加者数	65 人	会場	福祉まちづくりセンター 大会議室
	日時	平成 28 年 11 月 24 日 (木) 13:30 ~ 16:00					
主 テ ー マ	1 開会 2 あいさつ 3 講演 「高齢者の精神障がいについて～疾患理解と地域における支援～」 講師:医療法人聖山会 伊那神経科病院 院長 高橋 丈夫 氏 4 グループワーク 5 連絡						
主 な 意 見 な ど	1 開会 2 あいさつ ・伊那保健福祉事務所 所長 松岡 裕之 氏 ・相談アドバイザー 辰野 恒雄 氏 3 講演 「高齢者の精神障がいについて～疾患理解と地域における支援～」 講師:医療法人聖山会 伊那神経科病院 院長 高橋 丈夫 氏 (講演内容) 資料を基に、高齢者の精神障害について、高齢化と重複症状。また地域移行の考え方について講演していただいた。 (感想) 精神障がい者地域生活推進部会 部会長 南信病院 伊東 由美子 氏 日々、患者さんとの関わりに疑問を感じていますが明日からの生かせるお話をたくさん伺うことができました。南信病院でも高齢で入院される方が増えています。退院後の生活について話をしていく中で利用制度や支援者間の幅の広がりを感じます。 ご本人が安心して生活していく為支援の“枠”にとらわれず“その人らしさ”を支えていく為に広い意味での連携をとり、各支援者の力を持ち寄り支えていければ、と思います。 先生にお話しいただいたことを明日からの業務に生かしていきたいと思っています。 4 グループワーク 12グループに分かれて当事者との関わりについて等討議 5 その他 6 閉会						
ま と め	高橋氏の講演をお聞きし、本人に沿った支援の大切さを改めて考えることが出来た。また、介護分野と障がい分野でのグループワークを行うことで、顔の見える関係が出来、本部会のテーマである‘見える化‘に沿った有意義な						
次 回	打合わせ中						

会議	部会名	第4回 精神障がい者地域生活推進 部会	参加者数	30 人	会場	福祉まちづくりセンター 大会議室
	日時	平成 29 年 3 月 1 日 (水) 15:30 ~ 17:00				
主 テ ー マ	<p>1 情報提供 (1)精神障がい者地域包括ケアについて (2)障がい者雇用促進法の一部改正について</p> <p>2 事例検討 『あなたならどうする? どう思う?』 テーマ①“働く” ②“暮らす”</p>					
主 な 意 見 な ど	<p>1 情報提供 (1)精神障がい者地域包括ケアについて ○上伊那圏域障がい者総合支援センターきらりあ 相談支援専門員 矢野 芳子 春日 聡 より 資料をもとに、これからの精神保健医療福祉のあり方等についての情報提供。</p> <p>(2)障がい者雇用促進法の一部改正について ○上伊那圏域障がい者総合支援センターきらりあ 定着支援ワーカー 吉村 亜唯 より 資料をもとに、平成30年に一部改定される障がい者法定雇用率の算定基礎の見直しについて情報提供。</p> <p>2 事例検討 『あなたならどうする? どう思う?』 テーマ①“働く” ②“暮らす” テーマごとに各2グループに分かれてグループスーパービジョンを用いての事例検討会が行われた。 事例検討後の感想として参加者からは、『初めての体験だったが、通例の事例検討とは異なり新しい角度から事例に向き合えるいい機会となった』など、前向きな意見をいただいた。</p>					
ま と め	<p>今年度部会の柱にした“見える化”が進み、顔が見える関係が出来ることで今後の支援の進めやすさにつながっていくと思われる。来年度も地域包括ケア等、国の国の動きも含め部会の中でこの圏域に必要な体制を検討していく。</p>					
次 回						